

A

↑手順1で切る



②を上に
にして貼る
のりしろ



↓手順3で切る



②を上に
にして貼る
のりしろ



↑手順1で切る

B

こちらの四角い筒を
「内側」に差し込む

木星は、太陽に近い方から5番目の惑星です。
大きさ、重さとも太陽系で最大の惑星です。
所々に丸い模様が見られますが、これは、大気が渦になっている所です。一番大きな渦は大赤斑と呼ばれていて、1665年にカッシーニが木星を望遠鏡で見た時には既に存在していて、そのあともずっと350年間も存在し続けていると思われています。地球の大気の大渦である台風が2週間くらいで消える事を考えると、どうしてこれほど長期間続くのかは謎で、まだ十分に解明されていません。

コンテンツ作成: Dagik Team
データ提供: 木星画像: NASA/JPL-Caltech
<http://photojournal.jpl.nasa.gov/>



↓手順3で切る

← 左の線で切り、
②を上に
にして
①と貼
り合
わせる

← ②を上に
にして貼
るのり
しろ



← ②を上に
にして貼
るのり
しろ



Dagik

木星

Dagik

↑手順1で切る

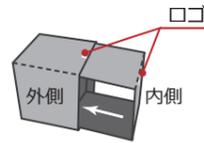
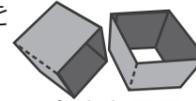
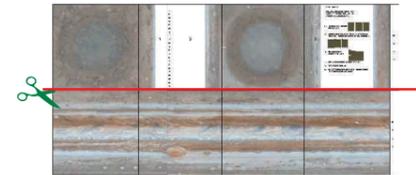
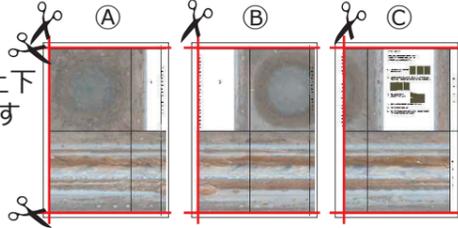


==作り方==

印刷したA3用紙を3枚つなげ、
長い2本の帯を四角い筒にして、
組み合わせると木星の完成です。



- ①②③の3枚とも左と上下の余白を切り落とします(右の余白は切らないように注意)
—— 切りとり
---- 山折り
- ②が①の上になるように「のりしろ」で重ねて貼ります。同じように、③が②の上になるように重ねるように貼ります。
- 真ん中の線で切り、2本の帯にします
- 4つの点線を山折りにして「のりしろ」を貼ると、四角い筒が2つできます
- ダジック・アースのロゴがつながるように、向きをそろえて「内側」の筒を「外側」の筒に差し込み、テープなどで留めたらできあがり



↓手順3で切る

(c) 2020 Dagik Team

の
り
し
ろ

内
側
の
筒

外
側
の
筒

の
り
し
ろ